

平成19年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	新生児搬送用保育器整備事業
事業主体 (連絡先)	南信州広域連合 (事務局 広域振興係 担当:長谷川 TEL0265-53-7100)
事業区分	医療の充実に係る事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,781,450 円 (うち支援金:1,910,000 円)

事業内容

- 1)新生児搬送用保育器 1 式整備 (飯田市立病院配置)
- 2)周知チラシ配布

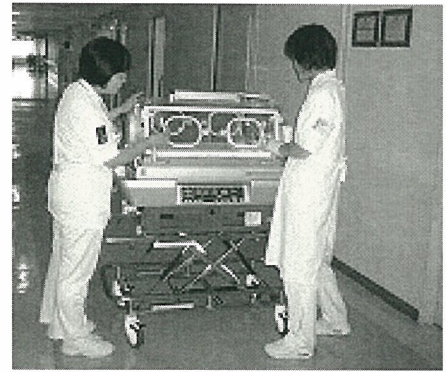
(事業の目的)

高齢出産・多胎・合併症等リスクの高い出産に対応できる周産期搬送システムとして新生児搬送用保育器を整備し、安全で安心な地域医療体制づくりを進める。

(経過)

産科医師が減少する状況の中で、当地域では医療機関や行政が一体となって「産科問題懇談会」を平成17年度に立上げ、平成18年12月には、「カルテを共有し、リスクの高い出産は飯田市立病院、ローリスクや妊婦検診は開業医を中心に」とする病院間の役割分担による産科体制を南信州モデルとして構築した。

同懇談会の協議の中で、新生児搬送用保育器の整備による体制整備が確認された。



自己評価 (事業実施率) 【 A 】

【目標・ねらい】

高齢出産・多胎・合併症等リスクの高い出産に対応する周産期搬送システムとして新生児搬送用保育器が必要。

中核病院である飯田市立病院に搬送体制を整備する。

事業効果

妊婦が安心してお産をする環境が整うとともに、尊い命をより安全な設備による搬送する環境ができた。

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

今後の取り組み

医療機関や行政が一体となった「産科問題懇談会」を中心にして、より良い地域医療の充実を進めていく。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。